



小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 Tel.045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

「ふわふわ言葉」で関係づくりを

こなだ ひろき
校長 小灘 洋生

いよいよ令和7年から令和8年に移り変わろうとしています。先月の学校だよりには間に合いませんでしたが、11月の末、11月28日、29日に4年生と上郷宿泊体験学習に行ってきました。1日目は横浜市民防災センターの見学と自然観察の森の散策の後、上郷森の家でキャンドルファイヤーを行い、2日目は吉田新田と都市発展記念館の見学とすべて横浜市内ながらも防災・自然・歴史とバラエティに富んだ活動を行うことができました。初めての宿泊体験学習で、家族と離れての宿泊が初めてだという児童も多くいたようです。

私からは、「自分から」と「自分で」というテーマで、必要なところは大人に助けを求めながらも、できることは自分たちでやってほしいという話をしました。うまくいったことばかりではなく、様々な経験がありましたが、それもまた次の活動への学びとしてもらいたいと思います。

さて、12月4日から10日は人権週間でした。人権週間は、一人ひとりが生まれながらにもっている「自分らしく生きる権利(人権)」を守り大切にしようとする期間です。これは1948年12月10日に国連で「世界人権宣言」が採択されたことを記念しており、日本では翌1949年から定められました。

小田小学校では今年度は12月1日～12日を入権週間として、「自分や友達はみんな違うけれど、それぞれが大切な存在」ということを知り、違いを認め合い、尊重する気持ちを育む機会として、各学級で人権標語を考え掲示していました。個人面談期間でもあったので、保護者の方もご覧になったかと思います。

その中で「ふわふわ言葉」という言葉が用いられていた学級が多くありました。標語になくても普段から学校では「ふわふわ言葉」については呼びかけたり、話題にのせたりしています。「ふわふわ言葉」とは「相手の心を優しい気持ちにさせる言葉」のことです。具体的には、「ありがとう」「すごいね!」「一緒にやろう」「大丈夫だよ」「嬉しい!」など、肯定的な、励ます言葉です。

それに対して「ちくちく言葉」という言葉もあります。これは、「相手の心を嫌な気持ちにさせる言葉」のことで、具体的には「バカだな」「何でできないの?」「うるさいよ」「嫌い」「どっか行って」など、相手をけなしたり否定したり拒絶したりする言葉です。

我々大人でも(大人こそ?)、何か変わってほしい、考えてほしい、そんなときについ「ちくちく言葉」を使ってしまいます。世の中を見ても、SNS等とてかく攻撃的な発言や関わり方が散見されます。しかし、振り返ってみると「ちくちく言葉」では反発を受けるだけで、結果としては何も受け入れられていない、ということが多くあるかと思ひます。「ふわふわ言葉」は相手を慮った言い方、というだけでなく、人間関係において大変有効な言い方であると言えるのではないのでしょうか。

子どもたちは「ふわふわ言葉」の大切さに気付き、実行していこうとしています。見守る大人もその姿を見せていかなければ、と襟を正していきたいと思ひます。